



昨年12月に県から「食べ残しゼロ協力店」として認定されました。



interview_03 器&カフェレストラン遊
オーナー 木村 勇子さん

県が実施している「食べ残しゼロ協力店」に加盟しています。食材の廃棄を減らすため、注文の際に「少なめ」など量の希望を伺ったり、自然保護のため、割りばしを希望者のみにお渡ししたりするようにしています。今後はエコポイント制度などを検討し、お客さんが楽しめる形で、エコ活動に取り組みたいです。

食べ残しゼロを推進

半田醸芳小学校では、5年生で「節電・節水見守り隊」を結成し、地球温暖化防止に取り組んでいます。例えば、朝の放送で節電・節水を呼びかけたり、お昼休みに各教室を巡回して電気を消したり、水道の蛇口が緩んでいないか確認したりしています。この取り組みによって校内の電気・水道代が下がり、平成28年度には福島議定書最優秀賞をいただきました。



interview_02 半田醸芳小学校
節電・節水見守り隊 井藤 柗太くん

見守り隊を結成

先輩方から受け継いできたこの名札を首から下げ、隊員で交替しながら、毎日全教室を巡回しています。

環境に配慮したエコドライブ



環境に配慮したクリーンディーゼルトラックを導入しています。



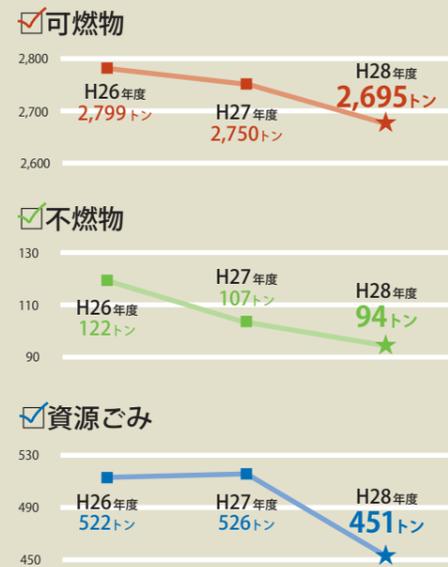
interview_01 福興産業(株)
代表取締役社長 山川 憲彦さん

福島議定書に参加する当社は、産業廃棄物収集運搬車に低排出ガス車を導入しています。保有台数のうち60%を環境省が定める燃費基準を達成した車に切り替えました。また、エンジンをこまめに切ったり、エアコンの温度管理に気をつけたりするなどの「エコドライブ」にも従業員全員で取り組んでいます。

めざせ！環境にやさしいエコの輪が広がるまち 地球のために、今始めよう

「誰かが解決してくれる…」環境問題はスケールが大きくて、ついそう考えてしまいがち。ですが、日々のちょっとした気遣いが積み重なれば、効果はちゃんと出てきます。できるところから「エコ活」に取り組んで、環境にやさしい地域にしませんか。

桑折町の家ごみ排出量



上記合計 **203トン減少**

ごみの焼却や、ごみ収集車の走行の際には、温室効果ガスである二酸化炭素が多く発生します。地球温暖化防止のためにも、今後もごみの減量に心がけましょう！

環境問題と聞いて、多くの人が思い浮かべるのは、「地球温暖化」ではないでしょうか。近年日本でも被害が巨大化している台風や集中豪雨、猛暑などの異常気象も、その影響と考えられています。温暖化は、地球規模の大きな問題ですが、「どこか遠くで起こっている問題」ではなく、すでにわたしたちの身近な生活にも兆候が現れ始めているのです。

町では、総合計画において「安全安心で住みやすい生活環境の構築」を目標に掲げ、家庭でのエコ活動を支援しています。資源回収の助成や、再生可能エネルギー設備導入助成、生ごみ処理容器の推進などを行い、環境にやさしい町づくりに取り組んでいます。環境問題は、これまでの人類の活動によって引き起こされた問題です。それを解決することができると

も、わたしたち人間の行動でしかありません。持続可能な地球環境を守っていくために、一人ひとりの取り組みが求められています。今回の特集では、町内で取り組んでいる「エコ活動」と、町の助成制度を紹介します。豊かな自然に恵まれ、美しい景観が残る桑折町。このふるさとを未来へ守り伝えるために、みんなで省エネ生活を始めましょう。

みんなの「エコ活動」を応援します！

生活環境課 エネルギー環境対策係
☎ 582-2123

再エネ設備でCO2の排出を抑えよう

環境に配慮した設備導入推進のため、次の設備を設置する際に、費用の一部を補助しています。

【住宅用太陽光発電システム】

1kwあたり3万円、最大4kw（上限12万円）

【定置用リチウムイオン蓄電池システム】

1kwhあたり2万円、最大5kwh（上限10万円）

【バイオマス燃料ストーブ】

対象経費の総額に5分の1を乗じて得た額（上限5万円）

光熱費を抑えて環境保全にも貢献！



生ごみ処理容器で廃棄を少なくしよう



生ごみ減量化のため、町内会で取りまとめて注文する家庭用生ごみ処理容器の費用は半額を補助しています。

地域みんなで資源回収をしよう



町内会などが家庭から出る新聞や段ボール等の資源の回収活動を行った場合、回収量に応じて報奨金（1kg3円）を交付しています。

HOT NEWS! 役場が県議定書奨励賞を受賞

桑折町役場が平成30年度福島議定書（事業所版）において奨励賞へ選出され、2月12日の表彰式で内堀知事から高橋町長へ賞状が手渡されました。

福島議定書は、事業所が自ら温

室効果ガス削減目標および取り組み内容を定めて知事と議定書を取り交わし、省資源・省エネルギー等実践活動に取り組む事業です。役場でも、節電・節水やノーマイカー通勤等に取り組んでいます。

